

	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-55℃～85℃(注1)			保存温度範囲		-10℃～60℃(注2)			
	電圧		AC 50 V			使用湿度範囲		相対湿度 95%以下 (ただし、結露しないこと。)			
	電流		0.3 A								
性能											
	項目	試験方法				規格				QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○
	表示	目視にて確認する。								○	○
電気的 性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。				60 mΩ以下				○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。				100 MΩ以上				○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○
機械的 性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。				差込力 86.4 N 以下 引抜力 3.6 N 以上				○	—
	繰返し動作	50 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 方向各 10 サイクル試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3方向各 3 回試験する。								○	—
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上				○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→2→3→30→2→3 分 を 5 サイクル試験する。				③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下				○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。				② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水、48 時間放置する。				① 接触抵抗: 70 mΩ以下				○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 0090)				② はなはだしい腐食がないこと。				○	—
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX 250℃ 220℃以上 60秒以内 はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内				外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと				○	—
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃, 浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。				はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだで濡れていること。				○	—	
備考											
注1. 通電時の温度上昇を含みます。						製図		担当		検図	
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。						承認		承認		出図	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.						製品規格表			製品名 FX10B-144P-SV1 (91)		
旧CL CL			図番 SLC4-151974-21			製品コード CL570-0153-3-91			1 1		

